

教育は褒めて伸ばす



「ほめる掲示板」について効果を語る矢嶋克也学院長=大垣市中川町、聖陵学院本部校

——褒めて伸ばす教育とは。
「おべんぢやうでいい気分にさせる」とことじやない。その人が気付いていない価値を見つけ出すのが褒めるということ。昨年春から、頑張りが見えた生徒数人を講師が『本日のMVP』に選ぶ掲示板を作った。普段は目立たない子が輝ける機会をつくることで、いじめ撲滅につながったり、頑張っているのに報われない子を救つたりでける」甘やかさないで厳しく指導してほしい、という親もいるのでは。

——塾外にも広めたいか。
「しつけか教育か見分けがつかないような指導じゃなく、学校でも家庭でも塾でも褒めて伸ばす教育が浸透すればと願う。夫婦間や上司と部下の間など世の中にもっと褒めることが浸透すればより暮らしやすい社会になると信じている」

子どもの頑張り認めて

インタビュー 西濃論

「パワーハラ防止など大人の世界が変わりつつある中で、厳しく指導する教育が主流だった子どもたちの世界も変えるべき」。「ほめてのばす」を掲げて西濃地域で学習塾を開く聖陵学院(大垣市中川町)の矢嶋克也学院長(57)は持論を展開する。「塾外にも褒めて伸ばす教育を広めたい」。理由や思いを聞いた。

(古家政徳)

大垣市の学習塾 矢嶋学院長が持論

「創業した27年前から褒める教育に可能性を感じていたが実践できなかつた。親に受け入れてもらえるか不安だつたから。ワーク・ライフ・バランス向上など社会の風潮が大きく変わってきた今ならと昨年、大きくかじを切つた。子どもたちの気質も変わつた。眞面目で実直な今の子たちは褒められたといつ自己肯定感から頑張る糧が得られる」

——講師全員に日本ほめる達人協会が行う検定試験を受けさせている。

「本気の笑顔、本気の拍手で褒めることで初めて生徒を勇気づけられる。毎月、褒める研修も行つてゐる。親から褒めるとへのクレームはない。むしろ『塾で褒められてるせいか、子どもが優しくなつた』といふ声を寄せてもらつた。自然に感謝の言葉が出たりと、思春期の子と親の関係にも良い影響を与えられる」と分かつた

——塾外にも広めたいか。

「かないような指導じゃなく、学校でも家庭でも塾でも褒めて伸ばす教育が浸透すればと願う。夫婦間や上司と部下の間など世の中にもっと褒めることが浸透すればより暮らしやすい社会になると信じている」